

薬生食監発 0406 第 1 号
令和 4 年 4 月 6 日

各 $\left(\begin{array}{c} \text{都 道 府 県} \\ \text{保 健 所 設 置 市} \\ \text{特 別 区} \end{array} \right)$ 衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省医薬・生活衛生局食品監視安全課長
(公 印 省 略)

有毒植物による食中毒防止の徹底について

例年、特に春先から初夏にかけて、有毒植物の誤食による食中毒が多く発生しています。令和 3 年もスイセン、イヌサフラン、バイケイソウ等の有毒植物の誤食による食中毒事例（事件数 15 件、患者数 20 名）が報告されています。

つきましては、各都道府県等におかれては、厚生労働省で作成したリーフレットや自然毒のリスクプロファイル等を活用するなどにより、食用と確実に判断できない植物については、絶対に「採らない」、「食べない」、「売らない」、「人にあげない」よう注意喚起を行うようお願いいたします。

注意喚起を行う際には、例年、患者の多くを高齢者が占めていることに鑑み、地域広報誌等の高齢者の目にもとまりやすい各種メディアの活用や高齢者施設等の関係団体を通じ、継続的に行っていただくようお願いいたします。また、過去には有毒植物の苗が野菜の苗として販売されていた事例も報告されていることから、必要に応じ、農林部局等関係部局とも連携し、事業者に対する監視指導を行うようお願いいたします。

参考) 厚生労働省ホームページ

- 有毒植物による食中毒に注意しましょう
(http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/yuudoku/index.html)
- 自然毒のリスクプロファイル
(http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/poison/index.html)

(参考) 令和3年の有毒植物における食中毒事件の例

【事例1】

発生年月日	令和3年3月4日
発生場所	高知県 家庭
原因植物	グロリオサ
概要	グロリオサと推察される球根を採取・喫食し、食中毒症状を呈した。
患者	1名(70代男性)
主な症状	嘔吐、下痢

【事例2】

発生年月日	令和3年4月13日
発生場所	福島県 家庭
原因植物	ウルシ(推定)
概要	患者宅の敷地内から採取した山野草をコシアブラと誤って喫食し、食中毒症状を呈した。
患者	2名(70代女性)
主な症状	腹痛、嘔吐

【事例3】

発生年月日	令和3年4月18日
発生場所	群馬県 家庭
原因植物	バイケイソウ
概要	山林で採取した山菜をオオバギボウシと誤って喫食し、食中毒症状を呈した。
患者	1名(60代男性)
主な症状	腹痛、吐き気、嘔吐

【事例4】

発生年月日	令和3年4月26日
発生場所	山形県 家庭
原因植物	スイセン
概要	ニラとして譲り受けた植物（スイセンの葉）を調理・喫食し、食中毒症状を呈した。
患者	2名（70代男性、60代女性）
主な症状	嘔吐、頭痛、悪寒

【事例5】

発生年月日	令和3年5月26日
発生場所	北海道 家庭
原因植物	イヌサフラン
概要	自宅近くに生えているイヌサフランをギョウジャニンニクと誤って喫食し、食中毒症状を呈した後、死亡した。
患者	1名（80代男性）
主な症状	嘔吐、下痢、脱水、急性腎不全、白血球減少